

オタク用語およびネット用語の意味の変化と一般化

山本 貴紀

<目次>

- 1 はじめに
 - 1.1 時代背景
 - 1.2 研究の目的
 - 1.3 本論文の構成
- 2 準備
 - 2.1 用語の整理
 - 2.2 調査用語
- 3 実例
- 4 考察
- 5 結論
- 6 最後に

参考文献、使用新聞データベース

1. はじめに

1.1 時代背景

「オタク」という言葉を聞いて何を感じるのだろうか。1980年代以降に言われ始め、現代では一般用語に定着されているように感じられる。「電車オタク」や「アイドルオタク」をはじめ、「オタク」以前は悪く聞こえたのではないだろうか。しかし返って現在では良い意味でも捉えられており、その中で様々なジャンルに発展している。その「アイドルオタク」に関しては一定のアイドルグループ内で呼ばれている用語も発生してきている。

また、他にもインターネットの普及に伴ってネット上でのコミュニケーションが増えて

きている。その中で会話としてのやり取りで略語や専門用語のように使い分けられ、多様化している傾向が自身の経験上増えてきている。それはいつ、どこで知り、意味を理解した上で使っているのかなど疑問が出てきた。他にも出てきた時期から現在にかけて意味や使われ方が時代によって変化している用語もあるのではないかと感じている。

1.2 研究の目的

主にネットスラングやアイドルオタクなどの一部の集団で使われている用語があるかを調べる。それらがメディアを通して現代社会で一般化されている用語をメディアなどの記事から抜き出し、それらの意味の変化、表現などについてどのような特徴が見えてくるのかを考察する。

1.3 本論文の構成

構成としてははじめに集団語に関する用語について明確に定義していく。これは研究対象の「オタク用語」が多様化していることからこのような用語について確かめる必要があるからである。次に本論は各用語の記事を見て、使い方の傾向や、意味などを読み取り、記事の用語の形態を見ていき、最後に研究を通した結論を述べるという構成とする。

2. 準備

研究材料として新聞雑誌データベース「朝日新聞記事データベース聞蔵Ⅱビジュアル」を使用する。そこから用語検索で研究対象となる用語を検索する。記事の内容や研究対象の用語がどのような流れで使われているのかまた、意味の違いがどのように変化しているのかを読み取る。そこから一般的、日常的に使われている用語の傾向を探る。

2.1 用語の整理

はじめに集団語に関わる用語について整理をしていく。まず「集団語」のいくつかの定義が存在する。まず、「民族語と国語、それにその方言の内部にあつて、特定の社会集団、それに職業・学問・政治・芸術など様々な社会の専門分野が使用する。」(渡辺 1981)とされている。しかし、「職場語・職業語・専門語・術語・スラングなどととも、研究者が「集団語」と呼んでいるものの一つである。」(渡辺 1981)ということから一部の集まりで使われている用語ということである。次に「位相語」である。これは「国語学で、言語表現の主体や場面(男女・年齢・職業・階層・地域・公的・私的)などによっておこることばの現れの違い」(明鏡国語辞典)とされている。また、「周期運動の中の特定の状態・位置。社会の違いによる言葉(-づかい)の違い。」(デイリーコンサイス国語辞典)ということから人、あるいは人の集団によって違うということがわかる。最後に「オタク」である。この言葉は1990年以降に発生し、現在も使われている。定義として「味的な世界のひたすら没頭する閉鎖的な人」(明鏡国語辞典)、「1. 相手や他人を敬って、その家、家庭という語。2.

俗語。自分お趣味に没頭して、他に関心を持たない人。」(小学館日本語辞典)、「1. 相手の人の家の敬語。2. 相手の人や相手の属している所の敬語。3. 自分の狭い嗜好(しこう)的趣味の世界に閉じこもり世間とは付き合いたがらない」(岩波国語辞典第7版)など掲げられている。これらからしてもはっきりとした定義が存在していないことがわかるが、良い意味では捉えられていないことがわかる。ではどのように定義されているのかを見ていく。

まず記述のとおり、渡辺(1981)は集団語については「職場語・職業語・専門語・術語・スラングなどとともに、研究者が「集団語」と呼んでいるものの一つである。民族語と国語、それにその方言の内部にあって、特定の社会集団、それに職業・学問・政治・芸術など様々な社会の専門分野が使用する。」とされている。

次に集団語に関する分類である。はじめに集団語は「隠語」と「非隠語」に分類される。渡辺氏は分類している。その中で「「非隠語」は「職場語・職業語・専門語。術語」と「スラング」に分類するとされる。」をする。

一方で岡田(2000)はオタクの定義として以下の二つを述べている。一つ目が「進化した視覚を持つ人間」であり二つ目に「オタクとは高性能のレファレンス能力を持つ人間だ」とされている。高性能のレファレンス能力というのはジャンルに囚われないという意味である。ということ述べている。

米川(2000)では集団語は「反社会的集団の語(犯罪用語・不良用語など)」、「職業的集団の語(業界用語・職場語)」、「趣味娯楽集団の語(釣り・囲碁の語など)」、「若者集団の語(若者集団・キャンパス用語)」4つに分類される。

集団の種類に基づいて「隠語」と「非隠語」がある。

隠語とは「社会集団が内部の秘密保持のために内部の人間だけが分かるように造った言葉」であり、例として以下の二つに分けられる。反社会的集団の盗賊は「商い」を「盗む」と言う。職業的集団は「トイレ」を「えんぼう」、「さんかん」、「しんかく」、「じんきゅう」など場所にもよるが使い分けられている。

次に職業的集団は「業界用語」と「職場語」に分けられる。

業界用語は「職業集団に共通して使われる職業上の通用語で「職場語」のことである。対して職場語とは「ある特定の職場で使用される言葉、同じ業種でも職場が違えば使用されることばも違うものがこれに当たる」とされている。

趣味娯楽集団は「競馬」で使用され、「いれこむ」、「肩むち」、「トレセン」など数多くの言葉で表されている。

職業的集団・趣味娯楽集団にも専門語が存在している。しかし米川氏と渡辺友左氏とで記述が違っている。

渡辺友左氏の場合、『「職業語」はすべて「専門語」として捉えている。対して米川氏は「「職業語」は正式な語はなく職業上の利便のために、あるいは遊び心で発生した言葉であり、必ずしも「専門語」と限らない』と主張している。その例として若者手段の言葉で『「フランス語」→「フラ語」』と取り上げられている。というように記述されている。

2.2 調査用語

調査用語はネットスラングやオタク用語などは日々発生し膨大な数になってしまうためいくつか絞る。以上の用語を A と B に分類した。

アイドル関係 (A)	ネット用語関係 (B)
DD	黒歴史
推しメン	kwsk
神対応	腐女子
塩対応	中二病
現場	
遠征	

これらの用語にした理由として「アイドル関係 (A)」に関してアイドルグループは現在、AKB48グループやジャニーズ、ハロー！プロジェクトなどをはじめとする様々な様態で存在している。各グループでの固有用語や全体的な使われ方がされているのかという点でこの6用語を選出した。また、アイドル用語の中から日常で使われそうなものを選出した。

次に「ネット用語関係 (B)」に関して現代はインターネットが当たり前の使われているネット社会になっている。ネット上でのやり取りが盛んである現在、ネットスラングが存在しているがその中からこの4用語を選出した。

全体的にはこれまでの雑誌やネットニュースなどのメディア媒体を閲覧し、個人的に多く使われていたという印象が強いことや特定の集団でしか使用されていないのではないかと推測のもと選定した。

3. 事例

これらの用語の調査方法として『朝日新聞記事データベース聞蔵Ⅱビジュアル』を使用する。期間は開始時期から2016年12月6日現在までの記事を対象に各用語をキーワードとして検索を行った。その中で用語の使われ方や、記事本文での意味が従来からみて変わってきているのかを調査する。主に用語と文の中での意味、捉え方などを重視してみていく。

初めに推測として「DD」は「誰でも大好き」という意味だけではないと考えているので、「誰でも大好き」という意味で使われているのは極めて少ないのではないかと推測した。「推しメン」はアイドル用語が発祥であると感じているものの、一般社会でも「この人を推す」というような使い方も現れるのではないかと考えた。「神対応」、「塩対応」に関しては、対義語のような扱いがされている印象が強いが、個人的な意見ではそうではないと感じる。「現場」、「遠征」に関しては、社会的なニュースで、「事件現場」、「海外遠征」、「長期遠征」などの用語で多く使われているのではないかと推測した。

一方のグループ B では「黒歴史」は文字通りの意味で恥ずかしい過去のことではないかということ、「k w s k」は「詳しく」をアルファベットで表記されている文字であり、記事では説明のような文であるのと、日常語としてネット（Twitter など）上でのやり取りが多いのではないかと推測した。「腐女子」、「中二病」はそれぞれニュアンスが違うことや一部で表現が変わってきているのではないかと推測した。

以下が記事の見出しと記事本文である。

- 1 DD

<A> (つぶやき@参院選なう)「総選挙」直後の SKE48 に聞く【名古屋】 2010年06月24日 朝刊 名 a+C4 面 (聞蔵)

ファンにも「無党派層」がいる。名付けて「DD」。誰でも大好きな略。彼らの動向は結果を左右するのでしょうか。「めっちゃ、大きいですよ」と口をそろえる。

「妹分」アイドル、次々「しゃちほこ」「たこやき」も、先輩「ももクロ」に続け 2014年02月22日 夕刊 文化芸能 (聞蔵)

「たこやき」のイベントで最前列から声援を送った都内の女子高生(16)は「スタダ DD」と称する。「DD」とは、アイドルファンの隠語え、「誰でも大好き」の略。特定のアイドルに限らず応援するファンを指す。スターダスト系列を応援するのが「スタダ DD」というわけだ。

<C>世界はアイドルという方法を発見したかわいい女の子たちの友情が時代を変える 2014年06月09日 週刊 アエラ (聞蔵)

アイドル戦国時代と言われてはや数年。「あまちゃん」でもアイドルグループが取り上げられ、ブームと冬の時代に繰り返してきたアイドルも文化として定着しつつある。シーンは戦国時代からむしろ DD (誰でも大好き) と呼ばれるファン層の増加や、ロックフェス参戦などの“外交努力”による音楽ファンからの認知獲得によって、ある種の平和状態に移行しつつある。

-2 推しメン

<A>人気アイドルグループ・AKB48 3泊5日、24万円8000円のパリツアーに未着
2009年07月24日 週刊 週刊朝日 (聞蔵)

AKB48では、ファンがお気に入りメンバー(ファン用語で「推しメン」)を応援することが、メンバーの活躍の場を広げることに繋がる。たとえば、次回のシングル曲のメンバーは、ファンの人気投票で上位21位が選抜される。言うまでもなく、メンバーはファンを大切にするわけだ。

(中略)

「ファンとしては推しメンを応援する一方で、『応援していることをわかってもらいたい』という気持ちも強くあります。メンバーに自分を知ってもらうことをファン用語で『認知』というのですが、推しメンと長く接することができるツアーは、まさに推しメンの彼女に認知される絶好のチャンスなのです」

-3 神対応

<A>(AKB 的 人 生 論 大 人 た ち に 言 い た い) 柏 木 由 紀 (用 語 説 明) 2013年12月06
日 夕 刊 夕 刊 be 金 曜 2 面

ファンの心をつかむ「神対応」で知られる。

聴覚障害者に居酒屋「神対応」山形、接客にネットで共感?/山形県 2016年08
月06日 朝刊 山形・1地方 (聞蔵) ※見出し

<C>(声)不倫会見、賛美に疑問【大阪】 2016年10月09日 朝刊 オピニオン2 (聞蔵)

今年は政治家や芸能人の不倫問題が頻発して、人としての倫理観が問われる年になっているようだ。

しかしながら昨今は、不倫をした落語家の会見を「さすが噺家(はなしか)さん」「人情話を聞いているよう」「座布団3枚」などとテレ部番組で持ち上げたり、元妻の不倫問題への取材に冷静に応じたお笑い芸人を「神対応だ」とまで絶賛したり。歌舞伎俳優である夫に不倫に対し、妻が「私にも至らない点があった」と言えば、「梨園(りえん)の立派な妻」「あっぱれ」などとこれまた絶賛の嵐。芸能リポーターの誰かひとりが褒めると右にならえで、各種メディアやネットでも一斉に褒めたたえるという風潮があるように感じる。

-4 塩対応

<A> (AKB 的人生論 大人たちに言いたい) 島崎遥香 将来は決めない。貯金はしてる (記事) 2013年08月09日 夕刊 夕刊 be 金曜 2面 (聞蔵)

握手会ではファンのみさんから「塩対応」(しょばい思いをさせるという意味)と呼ばれてしまうこともあって……。明るくて、上手に人と付き合える人になりたい。そう思って、何度も自分を変えようとしてきましたが…。ダメでした

ういろう “塩対応” アスリート用、塩分補給助ける 2016年02月29日 夕刊 1社会 (聞蔵) ※見出し

<C>銀メダル、10年間の気持ち入っている 車いすラグビーの官野選手が外線報告/千葉県 朝刊 ちば・1地方 (聞蔵)

メダルを取って最初に思ったのは妻であり、子供たちだったという。「帰国して子供にメダルをかけてあげたら、みんなに囲まれてしまい、妻にかけるのを一瞬忘れてしまっ……。それ以来、妻からは『塩対応』です」と笑わせた。

-5、6 遠征、現場

<A>復活!? カメラ小僧 アイドルと共存、SNS で PR に貢献 かつては問題も… 2015年05月02日 夕刊 文化芸能 (聞蔵)

4月、福岡県北九州市の釣具店で開かれたアイドルグループ「つりビット」の遠征ライブ。会場の最前列にカメラを手にした10人ほどのファンが陣取った。

(中略)

カメラ小僧は80年代に話題を集めた。イベント会場に詰めかけ、撮影したアイドルのきわどい写真を雑誌に投稿して謝礼を受け取るケースが問題に。芸能事務所が肖像権を主張し、イベントでの撮影禁止が浸透するとカメラ小僧は現場から姿を消した。

-7 kws k

<A> (てく の生活入門) インターネットのスラング 慣れで理解できる表現も (記事) 2008年5月17日 朝刊 be 週末 b6 (聞蔵)

「PTMM」は (please tell me more) の略で「もっと詳しく教えて」。日本の「kws k」にそっくりです。

インターネット講座 by 森井教授・第439回 ネット世界の隠語／徳島県 (記事) 2008年10月09日 朝刊 徳島全県・2 地方 (聞蔵)

例えば、かっこや記号を使って様々な顔の表情を見せる顔文字や、ローマ字入力を短縮して「詳しく」を「kws k」としたものです。携帯電話では絵文字が幅を利かせていますが、顔文字を使う人も少なくありません。今後もそうした隠語がネットの世界から数多く生まれ、活字媒体でも使われるようになることがあるかもしれません。

-8 黒歴史

<A> (天声人語) 悪ふざけがすぎて (用語説明) 2013年09月08日 朝刊 1 総合

「黒歴史」という言葉を最近知った。人に言えない、知られたくない過去、なかったことにしたい失敗などをいう。もともと人気アニメで使われていた用語が、意味を転じつつ俗語として広がったらしい。

熱狂、狂信、そして戦争 野田秀樹の新作「エッグ」 新生東京・東京芸術劇場で幕開け (記事) 2012年08月30日 夕刊 文化芸能 (聞蔵)

オウム真理教事件が下敷きの2010年「ザ・キャラクター」以降、「信じること」を問う作品を書いてきた。今回はすべて国のためと狂信し、残虐行為へと突き進む戦時中の黒歴史を描く。

-9 腐女子

<A> 「(トレンド)「腐女子」、漫画で活躍 男同士の愛、妄想の喜び 2007年02月02日 夕刊 文化芸能 4 (聞蔵)」

男同士の愛を描いたマンガや小説が大好きな女性オタクがいる。「腐女子（ふじょし）」と呼ばれるそんな女性たちの登場するマンガが大人気だ。オタク男子とまったり恋をしたり、独自の妄想で周囲を戸惑わせたり。「電車男」でブレイクした男性オタクに続いて注目を集める「腐女子」世界。ついていきますか？

「イケメンはつくられる ジャニーズだけじゃない 2008年03月24日 週刊 アエラ（聞蔵）」

「様々なタイプを楽しむ一方で、『誰と誰がアヤしい』など妄想する腐女子な楽しみもあるのでは。女性心理としては、でき上がった人気者ではなく、『私が見つけた、育てた』と言えるような『手垢のていていない存在』がほしいということもある」

<C>（鹿大のチカラ）ネットワーク調査 友が類呼ぶ 法文学部・桜井芳生教授／鹿児島県（記事・用語説明）2010年02月10日 朝刊 鹿児島県・2地方（聞蔵）

例えば「腐女子」。腐女子とは男性同士の恋愛を扱う小説や漫画が好きな女子のこと。設問の中に「自分は腐女子だ」と答えた人と友人になった被験者は、数か月後の調査で、自分を腐女子だと思うようになっていたという。

<D>「聖地・池袋、オトメ夢中 女性オタク向けショップ勢ぞろい 2014年12月06日 夕刊 文化芸能（聞蔵）」

「腐女子」に詳しいライターの倉田真澄さんは「アニメが若い女性に浸透し、オタクであることに抵抗がなくなっています。腐女子、ライトなアニメファン、コスプレが好きな女性と、池袋には全国から“オトメ”たちが集まっています」と話す。

<E>「（池袋…城北の副都心の街：1）サンシャイン前、乙女お聖地に／東京都 2015年11月05日 朝刊 東京B・2地方（聞蔵）」

「腐女子（腐女子）」と呼ばれるオタク女性に詳しいウェブ編集者、平松梨沙さん（26）＝北区＝は、約10年前から乙女ロードに行き始めた。自身も中学生の頃から「腐女子」。当

初は一目見てオタクと分かる女性ばかりだったが、近年はおしゃれな女性や彼氏と一緒に来る女性もいる。「オタク趣味が堂々と見せてよいものになったように感じます」

<F>女オタクにも格差社会？ 文化系女子 vs.東池袋オタク女子（記事） 2006年05月15日 週刊 アエラ （聞蔵）

現在、オタク女子の最大勢力である腐女子の聖地は東池袋になる。サンシャインシティに目の前200メートルのエリアは「乙女ロード」と言われ、漫画専門店やアニメグッズの専門店がずらっと並び、一大「女の萌えタウン」といった趣だ。秋葉原に集うオタクを「アキバ系」と言うならば、こちらは「東池袋系」女子というべきか。

-10 中二病

<A>「(ジャーナル M) 反抗期、ボク／ワタシの本音 2015年08月09日 朝刊 東特集 M （聞蔵）」

「中二病」という言葉もある。もともとはラジオ番組で使われていたことがきっかけで、思春期のころにありながら自意識過剰な言動を自虐的に表現することを指す。「母親を『おかん』と言うようになる」「自分はやればできるようになる（でもやらない）」などが挙げられていて、反抗期の特徴と重なる部分もある。

（声）若い世代「中2現象」は大人への一歩【大阪】（記事・用語説明） 2006年07月30日 朝刊 オピニオン2 （聞蔵）

中2も後半になると、少し変が生じる。一人でいるのがかっこいいと、「一匹狼（おおかみ）ごっこ」だ。やや遅れてきた中2現象真っ最中の人たちを、自分のことは棚に上げて馬鹿にする。これが、「中2現象」である。「中二病」ともいう。

中2病を私は馬鹿にするわけではない。これを通して自身をつけ友人との関係を学ぶ。中2病を乗り越えて大人への一歩を踏み出すのだ。大人になって「あのころは馬鹿をやったな。でも楽しかったな」と感じるときがくるのではないか。

<C> (辞書いいね!) 中二病大事典 オカルトやら宇宙やら…… (記事・用語説明) 2013年11月30日 朝刊 週末 be・b03 (聞蔵)

「中二病」という言葉はもともと、伊集院光さんのラジオ番組で、リスナーから届いたネタの傾向についての言葉だった。「中二くらいの男子が取る行動や思考」をさしていたが、ネット世界の中で意味が広まった。

この本の帯によれば、「オタク×ゲーム×アニメ×映画×漫画×etc.=中二病」なのである。

※この本=カンゼン、1363円

調査した結果、「神対応」、「腐女子」、「中二病」の3つの用語に関してはアイドル、オタクに関するもの以外にも様々な内容の記事が見つかった。ほかの7つは予測に近い結果、即ち、アイドル、オタク以外の内容の記事の例や、や、特殊な例がなかったということである。だが、上記の3用語は多く変わった使われ方があり、意味が多様であった。

4. 考察

中でも用途が多い3つを取り上げ時代や用例を細かく見ていく。

最初に「神対応」について細かく見ていく。各記事をA,B,Cとし、記事の概要を簡潔にまとめる。

まず、記事Aについて、「(AKB的人生論 大人たちに言いたい) 柏木由紀 (用語説明) 2013年12月06日夕刊 夕刊 be 金曜2面」を簡略にまとめると『現在の活動とデビュー当初の活動を振り返り、楽しむだけでなく、笑顔は送るだけでなくもらってもいいという内容。記事の最後に『ファンの心をつかむ「神対応」で知られる』と記載されている。』という内容の記事が記載されている。

次に記事B「聴覚者害者に居酒屋「神対応」山形、接客にネットで共感?/山形県 2016年08月06日 朝刊 山形・1地方 (聞蔵)」は「聴覚障害者に対して飲食店などが予約を拒否したことからとある居酒屋がメニューの説明にイラストを用意したことがTwitterで話題に。例としては注文後料理名からイラストであぶったりレモン絞ったりなど出した。」という内容の記事である。

最後に記事C「(声) 不倫会見、賛美に疑問【大阪】 2016年10月09日 朝刊 オピニオン2 (聞蔵)」は上記の文にも述べているが「不倫問題が頻発して人としての倫理観が問われている中、不倫した人の会見を芸能レポーターが絶賛し褒めるとメディアやネットでも褒めるといった現象に対して違和感がある。」という記事である。

この3つの記事をもとに比較していくと、Aはアイドル関係でB,Cは一般社会でのこと

である。A は笑顔であるからこそその「神対応」であることが伺えるが B,C に関しては親切的な対応をすることから「神対応」とされているのではないかと感じた。ただ、共通として言えるのは受け側がいい気持ちになることではないか。また、C に関しては予想していなかった驚きがあったことも含まれているのではないかと考えた。

「塩対応」について、<A>の記事にあるように受け手が苦笑いするような「しょっぱい気持ち」にさせることがアイドル用語としてのもともとの意味だ。それが一般の言葉としては<C>の記事のように「期待とは違う」という意味で使われる。また、のように文字通りの塩分補給対応の意味で使われている記事もあった。したがって、「塩対応」は「神対応」の対義語には考えられないことである。以下にまとめた。

	アイドル用語的	一般用語的
塩対応	しょっぱい気持ち	期待とは違う
神対応	期待通り	思いがけない、驚き、好対応

2 つ目に「腐女子」についてみていく。

はじめに文献からの定義をあげる。

一つ目が「知っているだけで恥ずかしい現代オタク用語の基礎知識」(オタク基礎知識)で『・やおい的嗜好を好む女性・オタクである女子』とされている。

その一方で「頻出ネット語手帳 辞書にはのっていない新しい日本語」では『女性のオタクの中でも、特に BL (ボーイズラブ)・やおい関連を好む人間のこと。一般的な女性を表す単語「腐女子」を読み方が同じ漢字に変換したもの。もともとは蔑称としての意味合いが強いが、当の女性オタク本人が自嘲を込めて使うケースが多く、現在は蔑称として使われることはあまりない』(ネット手帳)とされている。

この 2 つの定義を加えて記事を A から F とし、考察する。

初めに記事 A 「(トレンド)「腐女子」、漫画で活躍 男同士の愛、妄想の喜び 2007 年 02 月 02 日 夕刊 文化芸能 4 (聞蔵)」「男同士に愛を描いた漫画や小説が大好きな女性オタクを腐女子と呼ぶ。腐女子はジャンル問わずアニメやマンガで魅力的な男たちを見て、「男同士の愛」の妄想に没入するという。とある出版の方がいうには「腐女子の胸の内は『市民権を得るのはうれしいけど騒がれるのは嫌』『趣味の世界を侵されたくない』。だから、自分の趣味を認めてくれるか放っておいてくれるオタクの彼なら欲しい、という人は多いと思う」と言われる。」という内容である。

次に記事 B 「イケメンはつくられる ジャニーズだけじゃない 2008 年 03 月 24 日 週刊アエラ (聞蔵)」内容は「芸能プロダクションが「群像イケメン」を作り出している。舞台やドラマを通して成長していく。様々なタイプがいるのを楽しむ中で腐女子は『誰と誰がアヤしい』と妄想したり『私が見つけた、育てた』というような『手垢のついていない存在』

がほしいということもある」ということである。

次に記事 C「(鹿大のチカラ) ネットワーク調査 友が類を呼ぶ 法文学部・桜井芳生教授／鹿児島県 2010年02月10日 朝刊 鹿児島県・2地方 (聞蔵)」は「ネットワーク調査(ある集団を対象に、被験者に誰とつながりがあるかを明記してもらいアンケートに答えてもらう)について記載されている。腐女子が例として挙げられている。その中で腐女子とは「男性同士の恋愛を扱う小説や漫画が好きな女子のこと」と取り上げられている。また、アンケートの間にて「自分は腐女子だ」と答えた人と友人になった被験者は数が月後の調査で自分を腐女子だと思ふようになっていた。」という内容の記事である。

記事 D「聖地・池袋、オトメ夢中 女性オタク向けショップ勢ぞろい 2014年12月06日 夕刊 文化芸能 (聞蔵)」の内容を簡略にまとめると、

コミックマーケットの開催の足で男性は秋葉原、女性は池袋に向かうという。

アイドルユニットか「最終未来兵器 mofu」の白幡いちほが言うには

- ・ほしいものがなんでもそろっている町
- ・秋葉原や新宿にはない女子向けアニメグッズが、ブクロ(池袋)にはある
- ・乙女フィルターを通すとどんな作品も BL に見えてしまう

2000年代前半に乙女ロードができた

「腐女子」に詳しいライター倉田真澄さんが言うには「アニメが若い女性に浸透し、オタクであることに抵抗なくなっています。腐女子、ライトなアニメファン、コスプレが好きな女性と、池袋は全国から“オトメ”たちが集まっています」とされる。

記事 E「(池袋…城北の副都心の街: 1) サンシャイン前、乙女お聖地に／東京都 2015年11月05日 朝刊 東京 B・2地方 (聞蔵)」の内容を簡略にまとめると、

200メートルほどの通りにアニメや漫画の関連ショップがひきめき、9割以上が女性が占める。これを「乙女ロード」と呼ばれている。

創業者の社長「当時のアニメファンは内気な子が多かった。ぎらぎらした繁華街を通るようなことはさせたくなかった」

ウェブ編集者平松梨沙さん「オタク趣味が堂々と見せてよいものになったように感じます」

30代の女性会社員「ここに来れば、本当に好きな人に会える。すぐに打ち解き合えるんです」

ということである。

最後に記事 F「女オタクにも格差社会? 文化系女子 vs. 東池袋オタク女子 (記事) 2006年05月15日 週刊 アエラ (聞蔵)」についての内容をまとめると「かつて「オタク＝モテない」だが最近では「モテるオタク」と「モテないオタク」が存在する。その「モ

テ」の差について考える。文学や映画などのカルチャーをこよなく愛する「文化系女子」とオタク女子の最大勢力で東池袋を聖地とする「腐女子」の差について記載されている。女の子同士で盛り上がってしまうと男性は入れないという典型が東池袋系オタク女子に対して文化系女子は文学や映画が好きそうで、文化系男子から見て『自分の話を聞いてくれそう』に感じるという」という内容の記事である。

まず、A は上記で述べた定義と一致している。B に関しては定義と離れていて、妄想や過剰な発言から、「腐女子」という意味で使われている。

C は周囲にそのような人間関係があると気づかない間に感染していくということだろうか。もともとの意味に近い説明がされているが、その一方で、自分を「腐女子」だと思える人が増えているという記事で、「腐女子」の範囲が広がっていると考えられる。D,E は「腐女子」を別のものとせず、一般層とは異なる人という印象が無くなりつつある。すなわち恥ずかしがらない比較的オープンなスタンスに聞こえる。F に行くにつれて文献の定義と一致しなくなってきた。つまり、やおい、BL に限らず、広い意味で助詞の「オタク」というような意味で使われているのである。

最後に「中二病」である。

はじめに文献の定義をあげる一つ目が『中学二年生的な自意識過剰さを一言で表した言葉（オタク基礎知識）』とされる。

一方で『思春期の頃によくありがちな世間一般の価値観から微妙にずれてしまった自意識や、中学二年生（14 歳）の頃に考えそうな痛い言動を「症状」として比喻されたもの。また、正義感に燃えて政治や社会の汚さを強く批判したり、悪ぶったふりだけで何も行動を起こさないといった行為や性質も中二病に含まれる（ネット手帳）』と定義されている。

記事 A 「(ジャーナル M) 反抗期、ボク／ワタシの本音 2015 年 08 月 09 日 朝刊 東特集 M （聞蔵）」の内容としては、次のとおりである。

反抗期の子供たちへのインタビュー

中高生には反抗期の有無がある（家庭事情により）

「腹が立ったことがある」という声

- ・「今日どうだった」とか同じことを何回も聞いてくる。2 回目から無視
- ・かまわれすぎるのはうざい。でも、ゼロだとさみしいので、適度な感じにしてほしい
- ・勉強しろってうるさいけど、進学とかで周りが勉強し始めたら自分でやるから。信用してくれないのかと思っちゃう

いつかは終わる

「中二病」は元々ラジオ番組で使われたことがきっかけで、思春期のころなありがちな自意識過剰な言動を自虐的に表現することを指す。

- ・「母親を『おかん』と言うようになる」

・「自分はやればできると思っている（でもやらない）」

ネットで広まった結果、「ちょっとイタイ子」という意味で、浮くというより「クラスの面白い子」と位置づけされる。

反抗期は自分の意見がつぶされそうになったときに出る反応だという。

以上のような記事が記載されている。

次に、記事 B「(声) 若い世代「中 2 現象」は大人への一歩 2006 年 07 月 30 日 朝刊 オピニオン 2 (聞蔵)」の記事の内容は次のとおりである。

→中 2 現象と呼ばれる例

・後輩をパシリに使ったり一緒に授業をサボったり

・線背の話は「はぁ？」と聞き返す

・一人でいるのがかっこいいという「一匹狼（おおかみ）ごっこ」

中二病は馬鹿にしているわけではなくそれを乗り越えて大人への一歩を踏み出すという。

最後に記事 C「(辞書いいね!) 中二病大事典オカルトやら宇宙やら…… 2013 年 11 月 30 日 朝刊 週末 be・b03 (聞蔵)」の記事を C について簡略化すると

「中二病」は伊集院光さんのラジオからネタの傾向についての言葉だった。この本の帯によれば、「オタク×ゲーム×アニメ×映画×漫画×etc.=中二病」だという。

この 3 つの記事をもとに考えていく。A は自意識過剰とも取れる。したがって前述の定義に一致する。記事 A に記載されている「ラジオ番組」が記事 C のラジオ番組と同一かは不明だが、仮に同一なら、もともとの「ラジオ番組」での意味とは違って使われていることがわかる。B の場合は自意識過剰と捉えがちだが反抗期であって C ではオタクの意味で使われている。

5. 結論

最初に集団語として一定の層にしか使われないのが「DD」、「推しメン」、「塩対応」、「現場」、「遠征」、「黒歴史」、「kwsk」の用語であったことが実証できた。しかし、「塩対応」に関しては「神対応」との関係性に何があるのだろうか。

「神対応」はアイドル用語的には受け手が思っていた対応をしてくれたことや、記事でもあったように「ファンの心をつかむ」というように捉えられる。対して一般的には思いがけないことや臨機応変に対応することという結果であった。即ち状況や場所によって使い方があ

るということである。

次に「腐女子」と「中二病」の比較をしていく。「腐女子」は発祥当初はBL（ボーイズラブ）という意味で使われていたが、オタクという意味でも近年は使われている。一方の「中二病」でも、中学生の反抗期から過剰な発言が出てくるのである。同じく記事の意味合いからオタクという要素も出てきている。即ち、「腐女子」と「中二病」はともに意味が変わってきているということである。

以下、用語ごとに分析の結論をまとめる。

-1 : DD

「誰でも大好き」という意味では主にアイドル用語の用途で使われていることが分かった。しかし、一般化しているというよりは一部の人の中で使われているということである。

-2 : 推しメン

応援しているメンバーのことを指しているということは確かであったが、アイドル関連以外で使われている用例が極めて少なかったことから、一般的には多く使われていないと言える。

-3 : 神対応

記事の分析から考えられることは、「神対応」をした相手が言うことであり、それに対して感動などの感情を起きたときに使われるということだ。また、上記の記事でも挙げたように思わぬ良いとした対応にも使われていることから状況によって意味合いが変わってきているのではないかと考えた。

-4 : 塩対応

「塩対応」は悪い印象というわけではなくアイドル用語としてはしょっぱい、ほろ苦いなど受け手は苦笑いのようなイメージが多く出てきた。少なくとも悪い印象ではなければ、暗い話題でもない。一般的な言葉としては、期待していたのと少し違った結果に対して使われる用語である。したがって、「神対応」と反対の意味とは言えない。

-5、6 : 現場、遠征

分析に結果、アイドル用語としての事例が少なくどちらかというとニュース関係の用語として多く使われている。つまり、アイドル用語ではなく、もともとの普通の意味で使われる例が多い。ただ、アイドル用語としての意味で一般的には使われていない。したがって、一部の層で使われているということは間違いないことは確かである。

-7 : 黒歴史

用語の意味としては一つの集団の過去に対して使われていることがほとんどであった。過去の失敗や恥ずかしい過去のことを指していることわかった。

-8 : kwsk

分析の結果では用語の説明しかなかったことから日常語での使われ方なく、ネット上でのやり取りがほとんどではないかと感じた。少なくとも口答での会話では考えられない。なぜなら「kwsk」の表記で話し言葉では表せないからである。

-9：腐女子

使われ始めた 1990 年代では BL（ボーイズラブ）が好きという意味で使われていたが、2000 年代に入り、意味合いが変わってきている。「腐女子」を指す範囲が広がっていることである。例としてオタクという部類も加わっていることや激しい妄想なども含まれていることである。また内気気味であったが徐々に表に出すようになり、誇りに感じている人も増えているようだ。

-10：中二病

定義は、「自意識過剰」だが、記事の意味合いから反抗期という意味で使われていることが分かった。「腐女子」と多少意味が重なるのではないかと感じた。それは、オタクであること、妄想することは「腐女子」の意味合いに属するからだ。このように発祥初期と現代で変わってきている。

6. 最後に

文献関係で用語の意味がまとめられているのと記事で記載されているのでは意味が一致していないのが現状であり、年代に沿ってみていくと、意味が変わっているのも一部出てきている。推測ではあるが、意味を誤解して使用しているというのと個人一人一人であえて違う意味で使っている可能性がある。また、ネット上でのやり取りで意味を理解していない人も少なくはないといえる。それは上記で取り上げた「腐女子」のように自分がそう思い始めている例など、自然と使いだしていることがあるからだ。他にも「神対応」のように一部の層から始まり日常で使われだした用語は従来の意味とは異なる使い方が出てきている。

今回調査した用語すべてに考えられるのはニュースなどの記事の場合、意味の範囲が広いということである。個人個人での使い方の変化、さらには社会的な状況の変化によって、意味が変わっていつているのではないか。

<参考文献>

渡辺友左（1981）『隠語の世界』南雲堂

米川明彦（2000）『集団語辞典』東京堂出版

岡田斗司夫（2000）『オタク学入門』新潮社

オタク文化研究会、相良邦明編（2006）『オタク用語の基礎知識』星雲社

藤原実（2009）『知っているだけで恥ずかしい現代オタク用語の基礎知識』ディスカヴァー・トゥエンティワン

ネット語研究委員会（2009）『頻出ネット語手帳 辞書にはのっていない新しい日本語』普游社

北原保雄（2002）『明鏡国語辞典』大修館書店

<使用新聞データベース>

日経テレコン（閲覧日 2016年9月30日）<http://t21.nikkei.co.jp/g3/CMNDF11.do>

朝日新聞記事データベース 聞蔵Ⅱビジュアル（閲覧日 最終閲覧日 2016年12月06日）

<https://database.asahi.com/index.shtml>